

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	96 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	介護教員 看護師 病院、介護福祉施設で介護職員への指導看護師			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設において実習						
《成績評価の方法と基準》						
実習実技点70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護記録の書き方(メヂカルフレンド社) 介護総合演習8 (メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護			
第 2 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護			
第 3 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護			
第 4 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護			
第 5 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー① 通所介護 居宅介護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	96 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	介護教員 看護師 病院、介護福祉施設で介護職員への指導看護師			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設において実習						
《成績評価の方法と基準》						
実習実技点70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護記録の書き方(メヂカルフレンド社) 介護総合演習8 (メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 17 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 18 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 19 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 20 回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連 携を学び理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	実習 I ー② グループホーム 特別養護老人ホーム			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I ー③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		